

×										
A	12	0	21	6	24	18	3	27	9	15
	32									
	8									
	28									
	16									
	4									
	0									
	24									
	36									
	20									

少し毛色を変えて、こういう問題もあります。

答えが少し埋まっている代わりに、問題が書いていない100マス計算を、まず問題を埋めて、その後残りのマス埋めさせます。
この例だと、答えから「A」と書いているマスは3の段とわかるので、そこから青色マスが分かります。

小学二年生で、九九の表を見ながら、何×何かを考える問題を習うので、そのころ以降がよいでしょう。

割り算の準備にもなると思います。